

未受診飛び込み分娩を行った10代妊婦の背景

鈴木 俊治

葛飾赤十字産院産婦人科

Investigation of Teenagers Giving Birth without Visiting Antenatal Clinics

Shunji Suzuki

Department of Obstetrics and Gynecology, Japanese Red Cross Katsushika Maternity Hospital

Abstract

We surveyed seven teenagers who gave birth without visiting antenatal clinics. Although six of the seven had been aware that they were pregnant, they had not felt able to talk with their parents about their pregnancies.

(日本医科大学医学会雑誌 2015; 11: 102-104)

Key words: pregnant teenagers, no antenatal visits, background

緒言

未成年の妊娠は、いわゆる「望まない妊娠」が多く、また、母親に特別なスキルなどがなければ貧困などにつながることが多いことなどから、「子どもの虐待」などとも関連した社会的ハイリスク妊娠とされている¹⁻⁶。現在、このようないわゆる「特定妊婦」に対する地域行政や医療機関などによる社会的・経済的支援や資源の情報提供、さらには心理的サポートなどが考慮されるようになってきた。これらのサポートを有効に実施するためには、母子手帳発行時や医療機関受診時の社会的ハイリスク妊娠の適確な選別が重要であるが、1度も医療機関への受診がないまま分娩に至ってしまうケースでは後手を踏んでしまうのが実状である。

今回、将来的に未成年の未受診飛び込み分娩を減らしていくために、10代で1度も医療機関を受診することなく当院で分娩・産褥管理を行った症例の背景について検討したので報告する。

方法

葛飾赤十字産院倫理審査を経た後方視的研究を、個人情報に配慮して行った。

対象は、2010～2013年の4年間に当院で分娩・産褥管理を行った1度も医療機関を受診することなく分娩に至った10代女性7例である。同期間における当院での分娩管理は全体で8,117例であった。このうち、10代女性の分娩は144例で、また、1度も医療機関を受診することなく分娩となったのは全体で26例であった。

産褥入院期間中に助産師・看護師あるいはソーシャルワーカーが問診した記録から、両親との関係やパートナーの状況などについて後方視的に検討した。

結果

表1に7例の概要を示した。7例とも初産婦で未入籍、すなわち未成年であった。症例2を除いた6例

表1 10代の未受診飛び込み分娩7例の概要

症例	年齢(歳)	職業	親との関係	婚姻	パートナー	その他
1	15	学生	同居：親に言えなかった	—	あり	
2	16	学生	同居	未婚	連絡可	妊娠に気づかなかった
3	16	無職	別居（両親は離婚）、友人と同居	未婚	連絡不可	
4	18	学生	別居（両親は離婚）、姉と同居	未婚	連絡不可	車中分娩
5	19	学生	同居：親に言えなかった	未婚	連絡不可	自宅分娩
6	19	学生	別居（両親は離婚）	未婚	あり	
7	19	アルバイト	同居：親に言えなかった	未婚	連絡不可	

(86%)が妊娠に気づいており、4例(症例1, 3, 4, 6)は妊娠についてパートナー、あるいは姉や友人に妊娠の可能性を伝えていた。しかし、3例は離婚後に親権者である親と別居していた(うち1例は勘当されていた)ことから親に伝えられず、また、ほかの3例も親に叱られることが怖かったなどのために親に妊娠を伝えていなかった。(なかには、「妊娠に気づいていたことが親に知られると叱られるので、気づいてなかったことにしてほしい」というコメントもあった。)

症例5, 7の2例は自宅で1人だけの分娩を試みていたが、症例5は分娩後に家族に見つかり、一方、症例7は陣痛を我慢できずに救急車を依頼したとのことであった。

6例とも出生児所見から正期産で、児体重は平均3,050g(2,458~3,550g)であり、新生児仮死や分娩時大量出血例はなかった。最終的には親権者である親と連絡をとり、全例が母児ともに退院した。

考 察

未成年が未入籍のまま妊娠・分娩した場合、子の親権者は母の親であることが法律上定められているため、母と母の親が妊娠・分娩・育児に向けて協力していける関係にあることが重要である。かつて、2004~2010年における当院での16歳以下の若年初産婦45例を検討した結果においても⁷⁾、44例(97.8%)が平均19.1±9.5週に主に母親と一緒に医療機関を初診しており、未受診飛び込み分娩となったのは1例(2.2%)のみであった。一方、今回の検討において、妊娠に気づいていた6例中4例がパートナーなどに相談していたが、彼らも未成年者であり、経済的基盤や知識などがなかったことから、最終的には妊娠・分娩のサポートとならなかったと推定される。自験例のように親との関係が希薄で相談できなかつたり、さらには親との連絡さえもとり難かつたりするケースでは、親権者

(親)から適切に医療機関への受診を促されることがなく、必要な医学的・社会的サポートの致命的な遅れにつながるリスクをはらんでいる。ましてや、1人だけの分娩を選んでしまった2例においては、高頻度で母体死亡や新生児死亡などを合併するリスクも否定できなかったと考えられる。

大阪府における妊婦健診回数が3回以下の「未受診や飛び込みによる出産等実態調査報告書」(大阪産婦人科医会2014年3月)¹⁾によると、これらの出産は若年層と高齢層の2峰性で、未成年は経済的基盤がなく、家族にも相談できず、知識の欠如などが多いことから、成人とは別に対策を考えていく必要があろうと推定されている。教育関係者とも情報を共有し、事実として妊娠して出産するしかない状況の未成年者に対して個々の支援策が必要であることが推定されている。さらに、これらの実施のためには、親権者との関係が希薄である妊娠で悩んでいる未成年者がまず医療機関あるいは行政機関に連絡をとってもらえるような施策を練ることも重要である。わが国においても、「望まない妊娠」に悩む人のための電話やメールによる無料相談窓口の開設や、不安を抱える妊婦を支援するために商業施設のトイレや薬局に相談カードを置くような取り組みが行われているが⁸⁻¹⁰⁾、その効果は十分とは言いがたいのが実状である¹²⁾。そのため、例えばフランスのような中学校からの専門家による性教育授業やカウンセリングの義務化、また、親に相談できない、あるいは相談したくない未成年への経口避妊薬の配布や人工流産実施の無償化など^{11,12)}を参考とした、望まない妊娠を予防する積極的な性教育政策の必要性も考慮されるべきかもしれない。

結 語

当院で分娩・産褥管理した10代の未受診飛び込み分娩7例を検討し、未受診となった背景には、親(親

権者)との関係が希薄で妊娠の相談ができなかったことがあると推定された。

文 献

1. 大阪府：未受診や飛込みによる出産等実態調査について. <http://www.pref.osaka.lg.jp/kenkozukuri/boshi/mijyusin.html>
2. 東京都：周産期母子医療センター等における妊婦健康診査未受診妊婦の状況について. <http://www.metro.tokyo.jp/INET/CHOUSA/2011/12/601cr200.htm>
3. 日本産婦人科医会：妊娠等について悩まれている方のための相談援助事業連携マニュアル—妊産婦のメンタルヘルスケア体制の構築をめざして—改訂版. 2014.
4. 定月みゆき：若年妊娠・出産・育児への対応. 母子保健情報 2009; 60: 53-58.
5. 中井章人, 林 昌子, 奥田直貴：妊婦健康診査の意義と未受診妊婦のリスク. 周産期医学 2009; 39: 175-179.
6. 布施由紀子, 平泉良枝, 三浦 敦, 三宅秀彦, 山根珠紀, 鈴木俊治：若年経産婦の抱える問題点. 日赤医学 2012; 63: 418-421.
7. 鈴木俊治, 平泉良枝, 三宅秀彦, 三浦 敦, 山根珠紀：若年初産婦(16歳以下)における周産期予後の検討. 周産期医学 2011; 41: 1637-1641.
8. 静岡県：妊娠SOS相談窓口の開設について. <http://www.pref.shizuoka.jp/kousei/ko-140/kokatei/ninshin-sos.html>
9. 大阪府：にんしんSOS. <http://www.ninshin-sos.com/>
10. 東京都北区：～北区薬剤師会や区内ドラッグストアと連携配布～「妊婦向け相談カード」を作成. <http://www.city.kita.tokyo.jp/docs/press/1139/113934.htm>
11. France 24: France's lower house approves free abortions bill. http://www.france24.com/en/20121026-french-lower-house-passes-bill-fully-reimburse-abortion-contraception-health-free/#./?&_suid=142141612277606524830805646122
12. The World Post: France Free Abortion Bill: Lawmakers Vote To Fully Reimburse Procedure. http://www.huffingtonpost.com/2012/10/26/france-free-abortion-bill_n_2023729.html

(受付：2014年12月26日)

(受理：2015年1月20日)